

『(財) 中島記念国際交流財団助成』(独) 日本学生支援機構実施事業

第三の故郷を見つける農家民泊 実施報告書



かたくり館にて (仙北市西木町)

平成24年12月

秋田地域留学生等交流推進会議

目 次

はじめに	1
I. 参加者名簿	2
II. 実施要項	4
III. 実施スケジュール	6
IV. 告知チラシ	8
V. ミニレクチャー	9
VI. 活動報告	
1 班	10
2 班	11
3 班	12
4 班	13
5 班	14
6 班	15
7 班	16
8 班	17
VII. アンケート結果	
農業体験ツアー 留学生・日本人学生アンケート	18
農業体験ツアー 受け入れ農家アンケート	22
収穫感謝祭ツアー 留学生・日本人学生アンケート	24
収穫感謝祭ツアー 受け入れ農家アンケート	26
おわりに	28

11月3日・4日 農業体験ツアー

星雪館



泰山堂



のどか



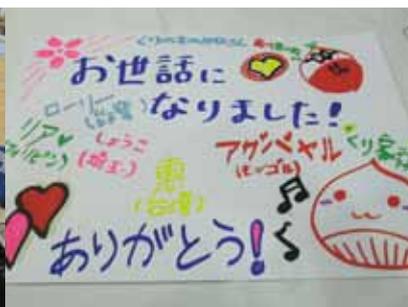
一の重



里の灯



くりの木



一助



門脇さん



クリオンにて



12月1日 収穫感謝祭ツアー



12月14日 ミニレクチャー



グリーン・ツーリズム西木研究会
会長 門脇 富士美さん



グリーン・ツーリズム西木研究会
藤井 けい子さん

懇親会



はじめに

秋田大学国際交流センター 牲川 波都季

農家民泊事業も今年で四年目となり、受け入れていただく農家のお宅も8軒とこれまででもっとも多くなりました。いつもながら温かくもてなしていただき、特に11月の一泊二日の農業体験ツアーは悪天候であったにもかかわらず、参加者全員が満足できるような体験内容を用意していただきました。

今回、私自身は、事業の立案・運営以外にもう一つ別の目的をもって、農家民泊に参加しました。過去3年・6度にわたって西木町を訪れる中で、グリーン・ツーリズム西木研究会のメンバーのみなさんが、なぜあれほど留学生らをリラックスさせ、帰り際にはすっかり親子のような関係を作っているのか、自分自身も参加しながらも不思議に思うようになりました。運営者としてグループを作る際には、日本語が難しい留学生がいれば、その人の使える言語と日本語との両方が話せる学生を必ず一緒にし、通訳の役割を果たしてもらえるようにはしてきました。しかし、今年度も合わせると3度留学生と宿泊した佐藤由井さん宅「里の灯」を例に挙げれば、日本語を学び始めてごく日が浅く、英語しか話せないという留学生とも、お母さん、お父さんは何かを話されているように思えます。いったい何が起きているのだろうか。今年は、そんな関心をもってICレコーダーをもちこみ、会話を録音しながらの農業体験になりました。

その結果はこれから考えていかなければまだわからないのですが、単にコミュニケーションがうまいというような話ではなく、他者をどう捉えどう受けとめるかという点において、何か確固とした考えをお持ちのようだと感じています。その秘密に惹きつけられて、また来年も、留学生と協力の日本人学生、引率教職員とともに、西木町を訪れることになることなのでしょう。

12月14日には、秋田地域留学生等交流推進会議において、グリーン・ツーリズム西木研究会代表・門脇富士美さんと元代表藤井けい子さんに、ミニレクチャーをお願いしました。留学生受け入れを心から喜んでくださるその語り口から、この受け入れ先があつての本事業成功であることを再確認しました。

* * *

企画・実施にあたり、参加の県内高等教育機関4校には、留学生・日本人学生の募集、協力教職員の派遣にご協力いただきました。秋田県立大学のテリー・リー・ナガハシ准教授は4度目の参加となり、秋田工業高等専門学校は鈴木祥子助教は初参加で人数の大勢いるグループの引率をしていただきました。秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会の柴田桂子さんには12月の収穫感謝祭に取材に来ていただきました。また、ミニレクチャーをしてくださったグリーン・ツーリズム西木研究会の門脇さんと藤井さん、また、ほかの会員の方々には全面的なご協力をいただきました。

なお、本事業は、財団法人中島記念国際交流財団の助成を得て、秋田地域留学生等交流推進会議が主催し、グリーン・ツーリズム西木研究会、秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、秋田県国際交流協会、秋田モンゴル友好協会、秋田地区日本中国友好協会の協賛を得て実施されたものです。企画・運営の事務作業は、昨年度に続き秋田大学国際課国際企画担当の宮崎舞が担当いたしました。

平成24年12月15日

第三の故郷を見つける農家民泊 参加者名簿／Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki Participants List

班 Group	リーダー Leader	名前 Name	英語表記 English	所属 Institution	出身地 Country	性別 Sex	備考 Note	
1.門脇 昭子さん Kadowaki Syoko Seisetsukan (星雪館)	◎	鈴木 祥子	スズキ ショウコ/Suzuki Syoko	Akita National College of Technology (Faculty)	Japan	F		
		任 芽蘭	イム・アラン/Yim Aran	Akita University	Korea	F		
		黄 為淳	ホアン・テイ・スーン	Akita University	Vietnam	F		
		曾 美娜	コン・ワイシェン/Wai Shun Kung	Akita International University	China	F		
		劉 秋蔚	ソウ・ミナ/Mei-Na Tseng	Akita International University	Taiwan	F		
		岩間 雄樹	リウ・チウウェイ/Chiu-Wei Liu	Akita International University	Taiwan	F		
			イワマ ユウキ/Iwama Yuki	Akita Prefectural University	Japan	F		
			Iseren dorj Batsaikhan	Iserein Dorj Batsaikhan	Akita Prefectural University	Mongolia	M	
			宮崎 舞	ミヤザキ マイ/MIYAZAKI Mai	Akita University (Staff)	Japan	F	
			李 殊蕙	リー・グエイ・セン/Yi-Hsuan Lee	Akita International University	China	F	
2.藤井 けい子さん Fuji Keiko Taizendo (泰山堂)	◎	Noor Mazni Binti Mond Khir Johari	ノール・マズニ・ビンティ・モハド・キール・ジョハリ	Akita National College of Technology	Taiwan	F		
		陳 雅婷	チェン・ガ・テイ/Chen Ya Ting	Akita University	Malaysia	F		
		高村 竜平	タカムラ リョウヘイ/Takamura Ryohei	Akita University (Faculty)	Taiwan	F		
		曹 建国	ソウ・ケンコク/Cao JIanguo	Akita Prefectural University	China	M	成履歴調査ツアーのみ参加	
		Pham Ngoc Can	ファム・ノック・カン	Akita University	China	M	職業体験ツアーのみ参加	
		Pham Minh Quyen	ファム・ミン・クエン	Akita University	Vietnam	F	成履歴調査ツアーのみ参加	
		Petr Ovcacek	ペトル・オフチャーチェク	Akita International University	Vietnam	M	成履歴調査ツアーのみ参加	
		TERRI LEE NAGAHASHI	テリー・リー・ナガハシ	Akita International University (Faculty)	Czech	M		
		Natalie Irving	ナタリー・アーヴィング	Akita Prefectural University	U.S.A	F		
		林 品好	リン・ピンヨ/Pin Yu Lin	Akita International University	UK	F		
3.高橋 由希子さん Nodoka (のどか)	◎	張 子洋	チョウ・シヨウ/ Zhang Ziyang	Akita International University	Taiwan	F		
		貝 沼 俊哉	カイヌマ トシヤ/Kainuma Toshiya	Akita University	China	F		
		Hoang Van Tien	ホアン・バン・チン	Akita Prefectural University	Japan	M		
		高橋 力哉	タカハシ リキノリ/Takahashi Rikunori	Akita University	Vietnam	M		
		高橋 司	タカハシ ツカサ/Takahashi Tsukasa	Akita University	Japan	M	職業体験ツアーのみ参加	
		Carlos Rodriguez Riquelme	カルロス・ロドリゲス・リケルメ	Akita University	Japan	M	成履歴調査ツアーのみ参加	
		李 珮瑋	リー・ペイシェン/Pei-Hsuan Lee	Akita International University	Chile	M		
		雷 琳	ライ・リン/Lei Lin	Akita International University	Taiwan	F		
		臧 利敏	ソウ・リミン/Zang Limin	Akita Prefectural University	China	F	職業体験ツアーのみ参加	
		Trinh Thi Thanh	チン・ティエン・タン	Akita Prefectural University	China	F	成履歴調査ツアーのみ参加	
4.佐藤 莉子さん Sato Ikuo Ichinoe (一の重)	◎	莊川 波都季	セガワ ハツキ/Segawa Hazuki	Akita University (Faculty)	Vietnam	F		
		市嶋 典子	イチシマ ノリコ/Ichishima Noriko	Akita University (Faculty)	Japan	F		
		Maria Zamzitski	マリア・ザムツツキ	Akita University	Japan	F		
		鄭 怡琳	テイ・イリン/Ti-Lin Cheng	Akita International University	Israel	F		
		Boldbaatar Mungunсан	ボルドバアタル・ムンガンサン	Akita International University	Taiwan	F		
		Buranga-samorn Thanapat	ブラアモーン・タナパット	Akita National College of Technology	Mongolia	M		
		小林 嬉子	コハヤシ ショウコ/Kobayashi Shoko	Akita National College of Technology	Thailand	M		
		Azbavar Erdenebaatar	エルデネバートル・アザバヤル	Akita International University	Japan	F		
		王 亭勻	オウ・テイユン/Ting-Yun Wang	Akita International University	Mongolia	M		
		呉 曉蕙	ゴ・キョウケイ/Wu Siao Hwei	Akita International University	Taiwan	F		
5.佐藤 由井さん Sato Yui Satoaokari (里の灯)	◎	Maria Victoria Regina Tinio	マリア・ヴィクトリア・レギナ・ティニョ	Akita University	Taiwan	F		
		八田 和也	ハッタ カズヤ/Hatta Kazuya	Akita International University	Philippines	F		
		Rahmatullah Ahmady	ラマトゥラ・アハマディ	Akita International University	Japan	M		
		Fitri Ayu Arumsari	フィットリア・ユ・アルムサリ	Akita University	Afghanistan	M	職業体験ツアーのみ参加	
		江 晨安	チャン・チェンアン/Chen-An Chiang	Akita International University	Indonesia	F	成履歴調査ツアーのみ参加	
		林子蕙	リン・シエイ/Lin Zih Hwei	Akita International University	Taiwan	F		
		武 宇麗	ブ・ゴクレイ/Wu Xueli	Akita Prefectural University	Taiwan	F		
		桜井 愛莉	サクライ アイリ/Sakurai Airi	Akita University	China	F		
		郭 愈辰	カク・ユンチン/Yu-Chen Kuo	Akita International University	Japan	F		
		Afiqah Binti Zulkepli	アフィカ・ビンティ・ズルケプリ	Akita National College of Technology	Taiwan	F		
6.佐々木 弘子さん Sasaki Hiroko Kurimoki (くりの木)	◎	唐 荣	トウ・エイ	Akita University	Taiwan	F		
		Keane Tanimoto	キーン・タニモト	Akita Prefectural University	China	F		
		Sawayana Setsuko	サワヤナ セツコ	Akita International University	Japan	F		
		7.沢山 節子さん Ichisuke (一助)	7.沢山 節子さん Ichisuke (一助)	Akita International University	Taiwan	F		
		Kadowaki Saemi	カドワキ サエミ	Akita National College of Technology	Malaysia	F		
		8.門脇 砂絵美さん	カドワキ サエミ	Akita National College of Technology	Malaysia	F		
			唐 荣	Akita University	China	F		
			Keane Tanimoto	Akita International University	U.S.A	M	職業体験ツアーのみ参加	

*Akita Prefectural University...秋田県立大学／Akita International University...国際教養大学／Akita University...秋田大学

Akita National College of Technology...秋田工業高等専門学校

**Faculty...教員／Staff...職員

協力農家等

名前 Name	ヨミガナ／英語表記 English	宿泊受け入れ Host Families	農業体験 Farm Experience	収穫感謝祭 Harvest Festival
1 門脇 昭子	カドワキ ショウコ／KADOWAKI Shoko	1班	○	○
2 藤井 けい子	フジイ ケイコ／FUJII Keiko	2班	○	○
3 高橋 由希子	タカハシ ユキコ／TAKAHASHI Yukiko	3班	○	○
4 佐藤 郁子	サトウ イクコ／SATOU Ikuko	4班	○	○
5 佐藤 由井	サトウ ユイ／SATO Yui	5班	○	○
6 佐々木 弘子	ササキ ヒロコ／SASAKI Hiroko	6班	○	○
7 沢山 節子	サヤマ セツコ／SAWAYAMA Setsuko	7班	○	○
8 門脇 砂絵美	カドワキ サエミ／KADOWAKI Saemi	8班	○	○
9 柴田 桂子 (秋田花まるっグリーン・ツーツリズム推進協議会 事務局員)	シバタ ケイコ／SHIBATA Keiko			○

農業体験ツアー参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	秋田大学	男	女	計
留学生	3	3	15	15	11	25	36
日本人学生	2		3	2	4	3	7
教員	1	1		2		4	4
職員				1		1	1
協力農家等						8	8
計	6	4	18	20	15	41	56

収穫感謝祭ツアー参加者数

参加者区分	秋田県立大	秋田工業高等専門学校	国際教養大学	秋田大学	男	女	計
留学生	3	3	15	14	9	26	35
日本人学生	2		3	2	4	3	7
教員	1	1		3	1	4	5
職員				1		1	1
協力農家等						9	9
計	6	4	18	20	14	43	57

第三の故郷を見つける農家民泊 実施要項

1. 目的

本事業は、秋田県内で学ぶ留学生が農業体験を通じ、1)随一の地場産業である農業と農家の暮らしを体験的に理解するとともに、2)農家の方のお話から、仙北市西木町の魅力を認識し、本事業後も再び同地を訪れるような継続的な関係づくりを目指す。

留学生の出身地、秋田県内での勉学・生活の地に加え、仙北市西木町を第三の故郷として見つけ出してもらうことを最終目標とする。

2. 実施内容

二回の農業体験プログラムと、農家の方によるミニレクチャーを通じ、仙北市西木町の生活を理解することで交流を深める。

第一回目の「農業体験ツアー」では、農作業・農家民泊を体験したのち、各農家で協働で作った料理を持ち寄るとともに、ツアーの内容を振り返り全員で共有する。

第二回目の「収穫感謝祭ツアー」では、再度同じ顔ぶれで集まり、餅つき大会を開催するとともに、「農業体験ツアー」での思い出をアルバムにまとめ農家の方に贈呈する。また農家の方と、仙北市西木町の魅力を語り合う時間を設け、留学生の再訪へとつなげる。

第三回目の「ミニレクチャー」では、西木町の農家の方から、留学生と本事業主催団体委員を対象に、ツアーに対する感想等を語っていただき、参加者全員で、県内在住留学生と地域との交流を深める意義とその進展の方策について考える。

(1) 第一回目 「農業体験ツアー」

- 1 グループごとに各農家に分かれ農作業を体験
 - 2 農家に宿泊し、グループメンバー同士や農家の方々とさらなる交流
 - 3 参加者全員で、各農家で留学生と協働で作った料理を持ち寄り、河原公園にて昼食会と農作業体験の振り返りを行う
- ※雨天の場合は、クリオンにて3を行う予定

(2) 第二回目 「収穫感謝祭ツアー」

- 1 第1回目と同じ顔ぶれで集まり、地元農作物を調理・食しながら、交流会を実施
- 2 各グループで農業体験ツアーを振り返ったのアルバム作成、紹介
- 3 各グループで農家の方のオススメ写真を見ながら、西木町の魅力を教えてもらい、その後、グループごとに発表し共有

(3) 第三回目 「ミニレクチャー」

- 1 秋田地域留学生等交流推進会議後、西木町の農家代表者から留学生を対象とした「農業体験／収穫感謝祭ツアー」の感想等を語っていただく。
- 2 感想を聞いて、参加者全員で県内在住留学生との地域との交流を深める方策について考える。

(4) 最終成果を留学生交流推進協議会のウェブサイト上に報告書として公開

3. 参加予定 「農業体験ツアー，収穫感謝祭ツアー」
県内在住の外国人留学生36人，日本人学生8人，
協力教員・引率3人，西木町の地域住民10人 計57人
「ミニレクチャー」
県内在住の外国人留学生10人，西木町の地域住民2人，
秋田地域留学生等交流推進会議構成員24人 計36人
4. 実施期日 「農業体験ツアー」 平成24年11月3日（土）～4日（日）
「収穫感謝祭ツアー」 平成24年12月1日（土）
「ミニレクチャー」 平成24年12月14日（金）
5. 実施日程 別紙のとおり
6. 募集期間 平成24年7月9日（月）～8月31日（金）
7. 主 催 秋田地域留学生等交流推進会議
8. 協賛・協力 グリーン・ツーリズム西木研究会，秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会，秋田県国際交流協会，秋田モンゴル友好協会，秋田地区日本中国友好協会
9. 参加料 無料
10. 問合せ先 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田地域留学生等交流推進会議事務局
秋田大学国際課内 宮崎
TEL 018-889-2856 FAX 018-889-3012
E-mail kokusai@jimu.akita-u.ac.jp

Find Your Third Hometown

***You need to participate in Farm Stay Tour and Harvest Festival Tour.**

Farm Stay Tour

November 3 (Sat.)

- 7:50 Meet at the AIU bus stop (AIU participants)
- 8:00 Leave AIU (by chartered bus)
- 8:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 8:30 Stop over at Akita University to pick up all other participants
- 10:30 Arrive at in Nishiki-machi Make groups, meet your hosts, and travel to farms. Enjoy lunch, farming experience, dinner, and a restful night in your host's home.

Please take a lot of pictures for the albums that we will make for our hosts in December!!

November 4 (Sun.)

- 6:30 Wake up
- 7:00 Breakfast
- 8:30 Farming experience
- 12:00 Arrive at Kawara Park (If it rains, at Kurion Hall), Lunch with host farmers
- 13:20 Introduce farming experience by each group
- 14:00 Take a group photo, free time
- 15:00 Leave Kawara Park(or Kurion Hall)
(fill out a questionnaire(on a bus))
- 16:30 Arrive at AU
- 17:00 Arrive at AIU

Please take a lot of pictures for the albums that we will make for our hosts in December!!

Harvest Festival Tour

December 1 (Sat.)

- 7:50 Meet in front of the AIU bus stop (AIU participants)
- 8:00 Leave AIU (by charter bus)
- 8:20 Meet in front of the Akita University main gate (All other participants)
- 8:30 Stop over at Akita University to pick up all other participants
- 10:00 Arrive at Nishiki Katakuri Public Hall, enjoy Harvest Festival-Cooking, eating, and making photo albums
- 12:50 Interview with farmers in each group, introduce other groups
- 14:00 Give the hand-made albums to our hosts, take a group photo, free time
- 15:00 Leave Nishiki Katakuri Public Hall
(fill out a questionnaire(on a bus))
- 16:30 Arrive at AU
- 17:00 Arrive at AIU

Mini lecture

December 14 (Fri.)

- 17:00-17:30 Mini lecture at College Plaza

『(財)中島記念国際交流財団助成』(独)日本学生支援機構実施事業

参加

第三の故郷を見つける農家民泊

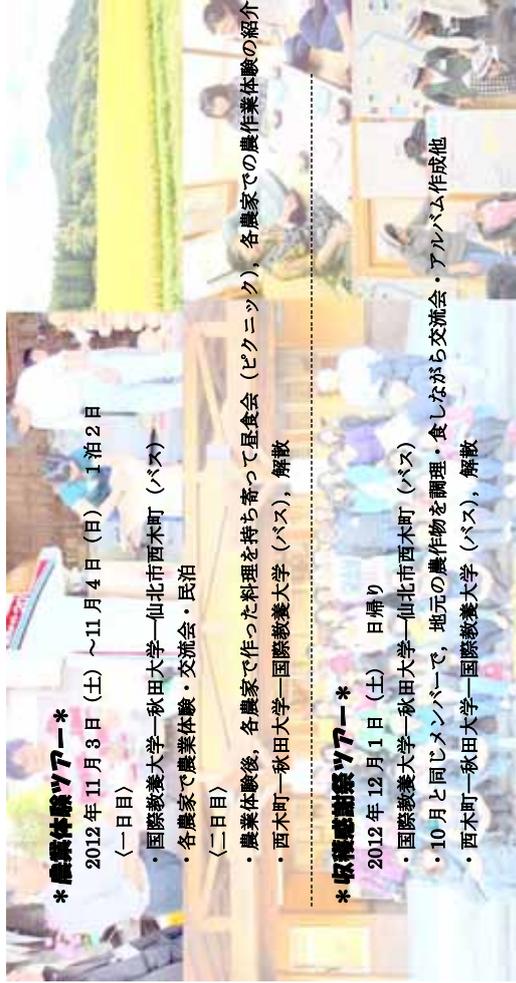
無料

仙北市西木町で農家に宿泊し、栗やほうれん草収穫などの農作業を体験する他、農家の方々から西木町や農業の魅力について教えてもらいます。

「農業体験ツアー」と「収穫感謝祭ツアー」の両方に参加できる方を募集!

ぜひ、農家の暮らしを体験してみませんか?

*対象は秋田県内の大学・高専で学ぶ留学生です。



農業体験ツアー

2012年11月3日(土)～11月4日(日) 1泊2日

(一日目)

- ・国際教養大学—秋田大学—仙北市西木町(バス)
- ・各農家で農業体験・交流会・民泊

(二日目)

- ・農業体験後、各農家で作った料理を持ち寄り、夕食会(ピクニック)、各農家での農作業体験の紹介
- ・西木町—秋田大学—国際教養大学(バス)、解散

収穫感謝祭ツアー

2012年12月1日(土) 日帰り

- ・国際教養大学—秋田大学—仙北市西木町(バス)
- ・10月と同じメンバーで、地元の農作物を調理・食しながら交流会・アルバム作成他
- ・西木町—秋田大学—国際教養大学(バス)、解散

【参加料】無料!!

【主催】秋田地域留学生等交流推進会議

【協賛・協力】グリーン・ツーリズム西木研究会、秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、

秋田県国際交流協会、秋田モンゴル友好協会、秋田地区日本中国友好協会

【お問合せ】〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

秋田地域留学生等交流推進会議事務局

秋田大学国際課内 宮崎まで

TEL 018-889-2856 Fax 018-889-3012

E-mail kokusa@jimu.akita-u.ac.jp



Free Tour

The Nakajima Foundation / Japan Student Services Organization

Find Your Third Hometown Farmstay in Nishiki

Popular Farm Experience tour - Don't miss it!

You'll have two chances of agricultural experience in Akita: staying at farm and joining the harvest festival.

Enjoy Chestnuts and Spinach gathering, and talking with farmers in Nishiki!

Eligibility: **International Students studying at Universities or the Technical College in Akita**

Farm Stay Tour

Sat, 3 November - Sun, 4 November 2012 (Overnight)
(Day 1)

Going to Nishiki-machi by bus

Farming experience and Welcome-dinner / Staying at the farm

(Day 2)

Farming experience (Picnic (taking farmers' homemade dishes) and sharing each experience / Returning to Akita University and AIU by bus

Harvest Festival Tour

Sat, 1 December 2012 (Day trip)

Going to Nishiki-machi by bus

Cooking with local agricultural products, enjoying delicious food with farmers and making albums/ Returning to Akita University and AIU by bus

Free Tour!

Sponsored by Akita Inter-regional Council for Promotion of Foreign Student Exchange

Cosponsored by NishikiKenkyukai of Green Tourism, Akita Hanamarukko Green Tourism

Promotion Council, Akita International Association, Akita Mongol Friendship Association,

Japan China Friendship Association in Akita region

Contact Info: Miyazaki, International Exchange Center, Akita University

Tel 018-889-2856 / Fax 018-889-3012

E-mail kokusa@jimu.akita-u.ac.jp



「第三の故郷を見つける農家民泊」ミニレクチャー

[日 時] 12月14日(金) 17:00~17:30

[場 所] カレッジプラザ

[講 演 者]

グリーン・ツーリズム西木研究会 会長 門脇富士美さん

前会長 藤井けい子さん

[参 加 者]

秋田大学国際交流センター 牲川波都季准教授(司会)

秋田地域留学生等交流推進会議委員, 陪席員

農家民泊に参加した4名の留学生

秋 田 大 学: 任 芽 蘭 さん (韓国), Azbayar Erdenebaatar さん (モンゴル)

秋 田 県 立 大 学: 曹 建 国 さん (中国)

秋 田 高 専: Noor Mazni Binti Mohd Khir Johari さん (マレーシア)

秋田大学教育文化学部 高村竜平准教授

秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会事務局長 藤原絹子さん, 職員 柴田桂子さん

秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課 阿部浩樹さん

[当日の様子]

留学生地域交流事業で4年連続受け入れてみての感想を、門脇さんからは、「留学生の受け入れに対して母からは、言葉も分からないし、難しいのではないかと言われていた。しかし、いざ受け入れてみると楽しく、この事業での留学生の受け入れをきっかけとして、外国人の団体客の受け入れに繋がった。」とのお話があり、今ではアメリカや台湾の高校生の団体も受け入れているそうです。また、藤井さんからは、「受け入れた当初は、それぞれの国で固まっていたり、母国語しか話せなかったりとなかなか苦戦していたが、実はそれぞれがグループになって楽しそうに話していることがわかり、知らない者同士が一晩で仲良くなるのを見ていて不思議でした。この受け入れの経験を通して私たち西木町の農家も新しい自信を得たような気持ちがしている。」とのお話がありました。

ミニレクチャーに参加した秋田県立大学のマズニさんからは、「2回のツアーで泰山堂でお世話になって、お母さんやほかの大学の学生といっしょに小豆の選別をしたり料理作りをしたりと本当に楽しかった。」と感想を述べました。

1 班活動報告（門脇昭子さん宅：星雪館）

秋田工業高等専門学校 鈴木 祥子

1 1月3日、4日の農業体験ツアーは雨の中での実施となりました。1 班の参加者は県立大の岩間君、モンゴルからの留学生のツェド君、台湾からのメイナさん、チェリーさん、香港からのソニアさん、韓国からのアランさん、ベトナムからのスーンさんです。生憎晴天には恵まれませんでした。今回お世話になった星雪館の皆様には温かく迎えていただき、アットホームな雰囲気の中体験がスタートしました。最初に行ったのは昼食のおはぎ作りです。ご飯を潰すところから始め、黄粉、すりごま、あんこの三色おはぎを皆で作りました。昼食を取った後、全員長靴と軍手をして畑での作業を体験させていただきました。雨が降っていたこともあり、この日はハウスの中での作業となりました。まずはハウス内のナスの苗の片付けを行いました。ナスを収穫しながら切られた苗を集めて外に運びだしたり、畝の周りに生えた雑草を抜いたり、皆慣れない作業ながらも楽しんで行いました。ナスのハウスを片付けた後は、お父さんと一緒に完熟トマトをおやつに頂きました。苗を片付ける前のトマトを目にするのは初めてで、完熟したトマトの甘さには本当に驚きました。また夕食に頂くホウレン草の収穫も行いました。富士美さんに収穫の仕方を教わってホウレン草を皆で箱一杯に収穫し、夕食には名物のホウレン草鍋を頂きました。夕食後留学生たちは母国語で星雪館の紹介ポスターを作成しました。農業体験感想を書いたり、カラフルな絵を描いたりして、個性豊かな紹介ポスターになりました。また星雪館を訪れた韓国人旅行者に宛てて葉書を出したいという富士美さんのお願いで、アランさんが代筆して韓国語で葉書を書きました。この他にも皆お互いに母国の事や日本の事、西木町の事等色々な事を話して賑やかな夜を過ごしました。2 日目は、クリオンで行われる昼食会に持っていくおにぎりを作りました。梅や鮭の具を入れ、包んだラップに銘々に絵を描いたかわいらしいおにぎりを作りました。昼食会に向かう途中田沢湖へも連れて行って頂き、きれいな湖畔の景色を眺め、辰子像の近くのお社に参拝させていただきました。昼食会及び発表会では、楽しかった体験を纏めて発表させていただきました。

1 2月1日の収穫感謝祭ツアーはかたくり館で開催されました。この日も天候に恵まれず雪のちらつく大変寒い日でしたが、西木町の農家の方々に温かく迎えていただき、1 班のメンバー達は星雪館の方々と1 カ月ぶりに再会出来た事を喜んでおりました。収穫感謝祭ツアーではお昼御飯の準備と餅つきをお手伝いしながら、農業体験ツアーの際に撮った写真を基に、アルバム作りをしました。写真の周りに絵やメッセージを書いたり、画用紙で飾りを作ったりして、感謝の気持ちを込めながら作成しました。このツアーの最後に1 班の留学生の皆さんが、「自分の家みたい。帰りたくない。」「また泊りに来たい。」と口々に感想を述べていたのを耳にして、このツアーでの体験が彼らにとってとても心温まるものだった事を改めて感じさせられました。3 日間星雪館の皆様、西木町の皆様には本当にお世話になりました。1 班を代表して心より御礼申し上げます。

2 班活動報告（藤井けい子さん宅：泰山堂）

秋田大学国際課 宮崎 舞

昨年に続き、今年二度目となる農家民泊。今年は、毎年受入の窓口としてお世話になっているグリーン・ツーリズム西木研究会の前会長、藤井けい子さんのお宅におじゃまさせていただきました。泰山堂のメンバーは、協力日本人学生としてサポートしてくれた日本語ペラペラの中国からの李さん、物知りな中国からの曹くん、台湾からの炒め上手なポリーちゃん、出てきた料理全てを美味しく食べていた陳さん、マレーシアからのとても優しいマズニさん、ベトナムからの真面目だけど時におちゃめなカンさん、チェコからの写真を撮るのが上手なベトルくん。このメンバーに私を加えた、計8名で泰山堂での一泊二日のワクワク体験が始まりました。みんなのアイドルの猫のココちゃんは人なつっこくて、藤井さん（以下、おばあちゃん）にデレデレです。みんな優しい表情でココちゃんと戯れていて、動物好きは万国共通ですね。

雨の中日差しが降り注いだ昼食後、おばあちゃんの「よし、晴れてきたし、きっと景色も綺麗だから河原公園にドライブに行こう！」の一声がかかり、息子さんも車を出してくれて、二台で河原公園へ向かいました。雨の後の日差しには虹が出ており、西木町への訪問を歓迎してくれているかのようでした。その後、様々な種類の豆の選別を終えてからは、夕食作りに移ります。おばあちゃんにも言われましたが、この班のメンバーは時折その日初めて顔を合わせたとは思えないような連携をみせ、特に料理作りの際によく表れました。それぞれが係を決めたわけでもないけれど、いつの間にかそれぞれ自分の係を持ち、おばあちゃんとの「冷蔵庫係ー！」「はーい！」「なべ係ー！」「はーい！」のやり取りが始まりました。かくゆう私も冷蔵庫係として、どこに何が入っているのか把握できたほどでした。連携も去ることながら、おばあちゃんの的確な指示もまた私たちを動かしているのだなと思いました。みんなで作った多種の美味しい夕食を食べ、眠りにつきました。二日目、クリオンへ持って行く料理をみんなで作って各家から持ち寄ります。泰山堂からの栗ご飯おにぎりや大学いもに、他の班の学生も群がりあつとゆう間になりました。おばあちゃんの手料理は、本当に美味しかったです。二日間で体験した農作業体験の振り返りを行い、また1ヶ月後に同じメンバーで来ることを誓い、第一回目のツアーを終えました。

待ちに待った二回目の収穫感謝祭ツアー。カンさんの代わりに同じくベトナムからのクエンさん、私自身学生時代にも大変お世話になった教育文化学部の高村先生が参加してくれました。前回のツアーでおばあちゃんから教わった栗の食べ方をみんな覚えていて、クエンさんにも教えていたところがすごく印象的です。また、「相変わらず美味しそうに食べるなあ。」というおばあちゃんから陳さんへの笑顔と言葉は、まるで本当の家族のようでした。

おばあちゃんをはじめ、きりたんぼ作りを教えてくれたお父さん、ドライブに連れてってくれた息子さん、癒し系のココちゃん、本当にありがとうございました。またお会いできることを楽しみにしています。

3 班活動報告（高橋由希子さん宅：のどか）

秋田県立大学 テリー・リー・ナガハシ（アメリカ）

第4回西木町ファームステイプログラムは、昨年と同じように雨の中始まった。昨年より開催時期が遅いため雨だけでなく寒さも加わった。雨の中ではあったがホストファミリーはきちんと準備を整えてくれていた。高橋由希さんと祖母のけいこさんは、おいしい食事と暖かい部屋で迎えてくれた。暖をとるためにお茶や栗をふるまっていたいただき、ちゃんちゃんこも用意して歓迎してくださった。食事は畑で取れた新鮮な野菜や新米で作ったきりたんぼ、朝食後にはババヘラアイスを頂いた。農業体験や森の散策などもした。冬に備えて、乾燥大豆作りの準備をするおばあさんの手伝いもした。ナタリーは日本に住む熊がとても見たいようだったので、熊狩りに出かけた。残念なことに熊は見つけることができなかったが、庭の近くには小さな狸が立っているのを見つけた（といっても像だが・・・）。12月1日、収穫祭でみんなと久々に再会することができた。ホストファミリーへ渡すアルバムを作り、餅つきをして一緒に昼食を食べて楽しんだ。その日の最後に、いつまた会えるかも分からないホストファミリーにお別れを言うのがとても悲しかった。

秋田県立大学 貝沼俊哉（日本）

秋田の魅力留学生達と一緒に感じられたことはとても貴重な体験でした。みんなが農業体験を通して仲が深まっていくことに大きな喜びを感じることができました。

秋田大学 チョウ・シヨウ（中国）

由希子さんたちが色々な料理を作ってくれました。カボチャスープの作り方も勉強しました。とても嬉しかったです。ここの景色はすごくきれいで大好きです。今回の体験を一生忘れません。

秋田大学 ホアン・バン・チン（ベトナム）

秋田名物のきりたんぼを作ることがとても面白かったです。農家の雰囲気は自分の故郷の感じを思い出しました。また、チャンスがあればこのような体験をしたいと思います。

国際教養大学 ナタリー・アーヴィング（イギリス）

初めて温泉に入りました。きりたんぼやババヘラも食べました。とてもおいしかったです。皆さんはとても親切でした！もう一度行きたいです！

国際教養大学 リン・ピンヨ（台湾）

日本の料理は台湾と比べるとすこし味が薄いですが大好きです。将来はぜひ家族にきりたんぼやおにぎりを作ってあげたいです。農家のゆっくりとした雰囲気が大好きです。

* * *

この体験を通して西木町の人々の温かさや農業の楽しさを見つけることができました。農家の人々や支援スタッフの方々のおかげで貴重な体験をすることができました。皆様に感謝します。3日間本当にありがとうございました。

4 班活動報告（佐藤郁子さん宅：一の重）

秋田大学 高橋 力載

私たち4班は佐藤郁子さん宅に宿泊させていただきました。農家民泊初日の天気はあいにくの雨で、自分の班のメンバーのリストにある知らない名前を見ながら少し憂鬱な気分でバスに乗り込みました。最初の停留地点には、既に笑顔の佐藤郁子さんが迎えに来ていて、私たち4班はすぐに車で家に向かいました。

佐藤さん宅到着後に簡単な自己紹介をして、お茶を飲みながら初対面のメンバーたちと話をするうちに最初の緊張はすぐにどこかに消えていました。お茶のあとは栗拾いに行き、日本人の私を含め、ほかの班員も初めての栗拾いに少し興奮気味でした。籠に入りきらない量の栗を持ち帰ったあとは、今後の田植えのために土を乾燥させる農作業を体験させていただきました。同じ動作の繰り返しのはずなのに、初めての農作業は留学生たちも楽しいようで、佐藤さん夫婦も作業がはかどって嬉しいと喜んでくださいました。農作業後にはみんなできりたんぼ鍋を作って食べました。母が秋田出身のため、きりたんぼは何度か食べたことがあったのですが、自分で一から作ったのは初めてだったからでしょうか、その時食べたきりたんぼは今までで一番美味しい味がしたのを覚えています。個人的にはこのきりたんぼ作りが初日の中で一番楽しかったのですが、留学生たちが一番楽しんでいたのは食後の温泉のようで、文化の違いから人前で裸になるのは抵抗があるのではないのかという私の心配はいらぬ心配でした。

二日目の天気もあまり良いとは言えず、雨が降ったり降らなかったりと天候には恵まれませんでした。今回の農家民泊に参加した全員と協力してくださった農家の皆さんで食事をした際に、班員やほかの参加者たちの笑顔を見て、今回この農家民泊に参加させていただいたことへの感謝と、新しい友人が出来た喜びを深く感じました。食事を終え、それぞれの班で、行った活動についての簡単なプレゼンをしたあと、12月までの短い別れを惜しみながら、楽しい2日間の農業体験ツアーは終わりを迎えました。

* * *

秋田大学 高橋 司

11月3、4日の農業体験ツアーに引き続き、12月1日に収穫感謝祭ツアーが行われました。農業体験の方には参加できなかったのですが、収穫した秋の味覚をいただけるということでも楽しみにしていました。安藤醸造での途中休憩をはさみ、前回同様バスで会場に向かいました。会場に着くと、グループに分かれてアルバム作りをしました。農業体験で撮った写真にコメントを書いたり、宿のお母さんへの感謝のメッセージを考えたりすることを通して、いつになく温かい気持ちになれたように思います。アルバム作成の途中で行った餅つきは中学生以来の貴重な体験で、農家のおばさんの迫力に圧倒されました。

また、国際教養大学、秋田県立大学、秋田高専の留学生とも交流できるいい機会でしたし、数年前に秋田大学にいらっしゃったテリー先生ともお話しすることができ、終始楽しく活動することができました。出来上がったおもちと農家の方が作ってくださった漬物はどれも絶品でみんな夢中になって食べている様子がとても印象的でした。帰りの際にいただいた栗もとても美味しかったです。

最後にこのような貴重な機会を与えてくださった先生方、国際課の方々そして農家の方々に心からお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

5 班活動報告（佐藤由井さん宅：里の灯）

秋田大学国際交流センター 市嶋 典子

今回、初めて農家民泊に参加しました。佐藤由井さんの里の灯に泊めて頂きました。私の他にも、モーさん（ブラナアモーン タナパットさん・秋田高専）、イリンさん（テイ イリンさん・国際教養大学）、ショウさん（ボルドバアタル・ムングンサンさん・国際教養大学）、マリアさん（マリア ザムジッキさん・秋田大学） 牲川さん（牲川波都季さん・秋田大学）が佐藤さんのお宅にお世話になりました。今回の参加の大きな目的は、農家の方々と留学生の皆さんがどのようなコミュニケーションを取っているのかを把握するためのデータ収集でしたが、気がつくと、学生と共に、きりたんぼやおやき、民芸品作りに熱中し、佐藤さんご夫婦のお話聞き入ったりしながら、農家民泊を満喫していました。

お母さんは、畑でとれた野菜を素材とした、美味しい手料理をふるまってくれました。イリンさんは、料理が出てくるたびに歓声を挙げ、小鉢に盛りつけられた料理を一つ一つ写真に納めていました。料理の作り方もうかがいましたが、とても手が込んでいて、自分で作るより、ごちそうになるのが一番だなと思いました。お父さんは、農業の仕事のことや若かった頃のお話をしてくださいました。夜には、三味線を披露してくださり、ショウさんとのコラボレーションも実現しました。ショウさんは、モンゴルで音楽を学び、チェリストとしてCDも出したほどの腕前。お父さんの演奏を1度、聞いただけで要領を得、見事な演奏を披露してくれました。モーさんは、農業にいたく興味を示し、お父さんに農作業のこと、農業機械のことなど、熱心に質問をしていました。聞けば、定年後に、農業を営みたいと考えているとのこと。今から定年後のことを考えていることに妙に感心してしまいました。マリアさんは、西木町がすっかり気に入って、国からお母さんが来日した時に、ぜひ、里の灯につれてきたいと語っていました。

収穫感謝祭では、アルバムをつくって、お母さんに差し上げました。皆で写真を見ながら、農家民泊での思い出話に花を咲かせました。お母さん達がつくって下さったお餅料理もお腹がはちきれぬぐらい堪能しました。

秋田出身ではない私は、正直、お父さんの流れるような秋田弁を全て理解できたわけではありませんでした。日本語経験の少ない留学生も、同様だったかと思います。そんなことがちっとも気にならない程、里の灯は、私にも、留学生にとっても、居心地の良い空間でした。お父さんとお母さんは、意味が通じない時は、辞書を使ったり、実物を持って来て見せてくれたりと、様々な方法で農家での生活、農家民泊への思いを伝えてくれました。お話をうかがっている中で、お二人の、相手に自分の思いを伝えたい、相手の思いを理解したいという気持ちがひしひしと伝わってきました。言語教育活動にたずさわる身として、コミュニケーションのあるべき姿をここに見たような気がします。

6 班活動報告（佐々木弘子さん宅：くりの木）

国際教養大学 小林 頌子

私たち6 班の農家民泊は思いがけないことから始まりました。この日は朝から雨が降っていました。薄暗い空の下で、私たち6 班のメンバーは、「くりの木」への宿泊を楽しみにしていました。しかし、私たちが「くりの木」の方と待ち合わせをしていた、かたくり館に迎えの姿がなく、みんな心配しながら迎えを待ちました。かたくり館では、ちょうど地域の方たちが集まり、お祭りを行っていました。私たちのことを不思議に思ったのか、お祭りの参加者の方が声をかけて下さり、私たちに栗を振舞って下さいました。私たち5 人は真冬のような寒さの中、滞在先の方を待っていたため、栗の温かさがとても体に染み込みました。そんな中、滞在先の方が迎えに来て下さり、みんな心からほっとしたのを覚えています。

私たちの班は、女性4 名、男性1 名で構成される、女性のパワーが強い班でした。国際色も豊かで、台湾・フィリピン・モンゴルと、アジアの様々な地域出身の留学生から成っていました。栗農家「くりの木」に無事に到着し、自己紹介をした後すぐに、私たちの農業体験が始まりました。「くりの木」は優しい方々の集まった、とても暖かい家でした。班の中には栗を初めて見た留学生もおり、私を含め、みんなにとって新しい経験が始まりました。

私たちは「くりの木」のお母さんの教えを受けながら、栗の選別作業や皮むきなどの体験をしました。最初は戸惑いながら行っていた仕事も、時間が経つごとに慣れていき、最後にはみんな慣れた手つきで作業を行っていました。「くりの木」で頂いた初めてのご飯は、仕事をしたという達成感と相まって、素晴らしいごちそうになりました。また、お母さんのお孫さんと一緒に、かたくり館で行われているお祭りの見学や、だまこもち・ゆべし作りなども経験し、とても楽しい時間を過ごしました。

二日目は、前日に選別を行った栗を倉庫に運び入れることから始まりました。唯一の男手であるモンゴルからの留学生は、とても頼りになる存在でした。また、栗の袋詰め作業や、おにぎり作りも体験しました。栗のおいしい調理方法なども教わり、あっという間に農家の方々と別れる時間になってしまい、名残惜しみながら「くりの木」を後にしました。

そして、一カ月後の収穫感謝祭で、私たちは再び「くりの木」のお母さん、お孫さんと一緒に時間を過ごす機会に恵まれました。おもち作りや、おもちつきなども新たに経験しました。そして、「くりの木」の方々に感謝の気持ちを込めて、アルバム作りを行いました。一泊二日の農家民泊でできたたくさんの思い出を懐かしみながら、私たち5 人と「くりの木」の方が写る写真を一枚一枚、アルバムに収めていきました。

今回の農家民泊では、普段の生活とは異なった、様々な体験をしました。また、留学生にとっては、初めての経験がたくさん詰まった日々でした。私たちは秋田の方々の優しさをたくさん感じることができました。今回の農家民泊で体験したことは、私たちの心にしっかりと焼きついています。「くりの木」のみなさんをはじめ、このような機会を提供して下さった多くの方々に感謝しています。

今回の西木町における農業体験ファームステイの私なりのキータームは「食卓を囲む文化交流」である。私は数回に渡る食卓での出来事を通して、魔法のような文化交流、発展が起こるのを目の当たりにした。そしてそれらの体験はこのイベントに初めて参加した私にとって衝撃的な印象と余韻を残した。多くの留学生と過ごした数日間を振り返り、そこでの出来事を報告したい。

私たちは農家、「一助」さんのお宅で一泊し、その間まず到着直後のお昼に、私たちにとって最初の文化の共有の場となる、そば打ちを体験した。親切に教えてくださったのは「一助」のお父さんだ。そば打ちの経験がない私の班の留学生、特にアフガニスタンから来たアハマディーは、非常にその作業内容に興味を持った。パン文化出身の彼が最初に発した言葉は、そば粉に「卵を入れないのか」であった。それから、まるまったそば団子に「粉を振るのはなぜか」、そしてできてから、「実はそばを食べたことがない」といった具合で、尋ねるたびにお父さんが丁寧に教えた。それに対し台湾、中国から来た留学生たちの中には体験したことがある人もいた。似た製法をする中華料理を作る中国人のガクレイは手馴れており、様々な中華風の作り方も紹介した。しかしお父さんのやるやり方との違いに時折触れては「こっちのほうがいいのに」とやきもきしていた。そしてできたそばを食べているとき、私たちは自らの食文化や母国の気候なんかについて多く話したのであった。

そしてその日の夕食の食卓では、お母さんの作ってくださったハヤシライスを食べながら、イスラム教徒のアハマディー以外ビールを飲み、さらに多く自らのことを話し、お互いの話に耳を傾けた。お父さんの晩酌が進み、一言「食卓を囲むことで文化の違いは縮められる」とおっしゃった。そのとき、私を含め全員がよりお互いのことを初めより理解し、さらに理解しようと努力していることに気付く。そしてお父さんは続ける、「この活動を広げれば世界の中で起きる文化的な争いも縮小できる」。「その通り、いいアイデアだと思います」と、パキスタンとの文化的な争いの背景を持つ国、アフガニスタンから来たアハマディーは共感した。私たちも心の中で共感の拍手をした。

次の日の朝、アハマディーは納豆に挑戦した。「ちょっと難しい」と結局あきらめた彼であったが、そこで彼は自ら文化の垣根を乗り越えようとした。

この三つの食卓で、文化の違いの共有、理解、克服を経験し、そして達成した。日本人同士とは違い、国・文化が違う者同士での試みである。個人レベルの理解や克服に、日本人同士と比べて何倍もの時間をかけ、丁寧に進めた。

お父さんのおっしゃるように、世界の文化的な争いもこのような活動の拡大によって収縮、解決できるのであると信じている。世界は大きく、その大きさに比例して文化の溝は必然的に深まるように思われる。しかし個人レベルで知る文化の差異を演繹することで理解できることも多い。泊がけからしばらくたってから行われた収穫祭でも、多くの留学生と語り、文化交流を通じてお互い、ひいてはその国についても少し知った。文化交流はまずは食卓を一緒に囲むことから始めるのがいいのかもしれない。

8 班活動報告（門脇砂絵美さん宅）

秋田大学 桜井 愛莉

私たち8 班は、マレーシア出身のアフィカさん、台湾出身のドーンさん、ハワイ出身のキーンさん、中国出身の唐栄さんで、門脇さんのお宅に滞在することになっていました。私にとって留学生と一緒にファームステイすることは初めてでした。それにもかかわらず、私たちのグループはほぼ全員が初対面でありましたが、なぜか初めから長年の友達のようにふれあっていました。門脇さんの車に乗り込んだときから、話が途切れず、話題に困ることはありませんでした。あいにく、天気には恵まれず、農業体験は小豆の選別しかできませんでしたが、受け入れ先の農家さんから「10 日分もの選別をしてくれたよ!」といわれた時は、本当にうれしく感じました。私だけでなく、8 班全員がそのように感じていました。

また、秋田の食文化について今回の体験を通して多く学ぶことが出来たと思います。まずは、きりたんぼ作りです。私を除く4 人は初体験で、楽しそうに自分流にきりたんぼを作り上げていました。四苦八苦しながらか作り上げたきりたんぼは、さまざまな形をしていましたが、とてもおいしく仕上がりました。

次に、もちつきです。門脇さん宅には本格的な杵と臼があり、みんなで協力しもちをつきました。杵の重さにみんな驚きを隠せなかったのか、声をだしながら一生懸命もちをついていた記憶が残っています。

最後に、おにぎり作りです。ほぼ全員が初体験でした。三角のおにぎりを作ると意気込んでいたアフィカさん。結局出来たのは、丸くてかわいいおにぎりでした。おにぎりの具は、前日に買いに行ったのですが、みんなでぞろぞろ門脇さんと一緒に歩いている光景は本当の家族のように思われました。

夕食後は、折り紙をし、キーンさんの隠れた才能が開花しました。なんと、折り紙で「ハエ」を作ったのです。みんな、キーンさんに負けじと自分なりの傑作を作り上げていました。次の日の食事会もいろいろな話をしながら仲を深めることが出来、二日間とても密に過ごせたと思います。

12 月1 日。唐栄さんを除く全員が再会でき、感動を分け合いました。アルバムを作る際に、写真を見ながらファームステイ時のことを思い出しながら語り合いました。門脇さんにも会うことが出来、本当にうれしかったです。料理作りでは、紅白もちを作りました。紅のもちを見て、驚いたり、感動したりしていました。アルバムも門脇さんに喜んでいただき本当によかったです。

今回の体験を通して、私のような日本人学生も秋田の文化、日本の文化について学ぶことが出来ました。とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。また、みんなそろって門脇さんを訪れたいと思います。

[農業体験ツアー] 留学生・日本人学生アンケート 結果

Result of Questionnaire of the Farming Tour for International Student and Japanese Student

回収数：43枚 単位：人

問1. あなたはどの大学の学生ですか。

Which university do you belong to?

秋田県立大学 Akita Prefectural University	5
秋田工業高等専門学校 Akita National of College of Technology	3
国際教養大学 Akita International University	18
秋田大学 Akita University	17

問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊」をどのように知りましたか？

How did you get to know this program?

掲示 From the bulletin board	5
ウェブサイト From the web-site	0
友人・知人の紹介 From your friends	6
教職員の紹介 From professors or staffs	26
その他（複数回答を含む） Others	6

問5. 農業体験に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the farming practice?

とても満足した Very satisfied	36
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問7. ピクニックをして満足しましたか。

Were you satisfied with the picnic?

とても満足した Very satisfied	27
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	9
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問9. 他の学生及び教職員と交流できましたか。

Could you communicate with other students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	20
交流できた Yes, I could.	20
どちらでもない Neutral	3
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問2. あなたは留学生ですか、日本人学生ですか。
Are you an international student or a Japanese student?

留学生 International student	36
日本人学生 Japanese student	7
その他 Others	0

問4. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2012: Farming Tour?

農業体験 Farming practice	4
農家民泊 Farm stay	22
ピクニック Picnic	1
農家さんとの語り合い Talk with farmers	5
その他（複数回答を含む） Others (all)	11

問6. 農家民泊に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the farm stay?

とても満足した Very satisfied	39
満足した Satisfied	4
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問8. 農家の方たちと交流できましたか。

Could you communicate with farmers?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	17
交流できた Yes, I could.	19
どちらでもない Neutral	2
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	5
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問10. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2012: Farming Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	33
満足した Satisfied	9
どちらでもない Neutral	1
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問11. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2012.

《肯定的なコメント Positive Comment》

- ・本当に感謝している。星雪館のみなさんはとても楽しかったです。いろんな体験は忘れられない。 Thank you for 星雪館 gave me so wonderful experience for the farming stay. I wouldn't forget it.
- ・農家民泊に参加して良かったと思う。初めての民泊でしたが、とても楽しかった。おばあさんとお姉さんはとても親切で、美味しい料理も食べられた。グループの皆とも友達になれて、とても楽しかった。日本の料理と農家生活もよく理解できて、とても楽しい景色にも感心した。機会があれば、また民泊に参加したい。
- ・今回の体験は本当に楽しかった。優しいお姉さんからは、きりたんぽとおにぎりの作り方を教えてもらって、すごく嬉しかった。それから私にとって自然の景色と農家の生活は、新しい体験。いつも繁華街に住んでいる私にとって、今回の体験は本当に珍しいこと。もっと私の日本語が上手になったら、ぜひ農家のお姉さんとさらに話します。
- ・それぞれの国で文化・伝統・習慣は違うが、皆で一つのことを行うことで、グループとしての絆や国を超えての交流をすることが出来た。
- ・初めて農家民泊をした。私にとって、本当に新鮮な経験。農家の皆と一緒に仕事をしたり、料理を作ったり、ご飯を食べたり、おしゃべりすることがとても楽しかった。今回の経験で、本当の秋田人（日本人）の生活を過ごせて、理解できた。毎日、家族の皆は私に親切にしてくれて、いつもお腹がいっぱいだった！超楽しかった。
- ・僕の行った家は、とてもきれいで初めて2階に住む人たちを見た。階段をのぼって中に入るのが珍しかったです。野菜がとても多くて、初めておはぎやおにぎりも作って食べた、とてもうれしかった。
- ・いろいろな経験が出来て、とても良い思い出になった。
- ・初めて日本人のお宅に泊まったり、いろいろ農業のことを考えて、とても楽しかった。一番楽しかったのは、おばあちゃんが料理を作ってくれていろいろ美味しい日本の料理を教えてくれたこと。また戻ってきたい！
- ・とても楽しかったです。こういうツアーに参加したことがなかったので、どの活動も初めてだった。お母さんとお姉さんはいい人で、忘れられない。ちょっとホームシックだった。本当に感謝している。日本が大好き！！特に秋田！！12月1日がまた楽しみ！
- ・この体験を通して面白くて楽しい時間だったし、良い思い出を作れた。このような留学生プログラムがもっと増えたらいいと思う。そしてこのプログラムを計画した教職達、ありがとうございました。
- ・今回日本人学生としてこのツアーに参加して、農家の方と留学生との通訳の役割をしたが、とても良い経験だった。普段関わっている人々と離れ、他大学の留学生との交流はとても意義深く、文化交流の楽しさを思い出した思いだった。また、農家の方にも良くしてもらい、久しぶりにゆっくりとした時間を過ごせたことは自分にとってとても良いリフレッシュになった。「第三の故郷を見つける農家民泊」というタイトルのツアーでしたが、僕はその言葉の通りここが第三の故郷のように感じる。それぐらい落ち着いて楽しめ、参加して良かったなと感じた。12月も楽しみにしている。

- ・農家の沢山節子さんはとても親切だった。私たちはそばの作り方を詳しく教えていただいた。いっぱい栗もとってプレゼントにもらった。温泉も入れてとても楽しかった。沢山節子さん、どうもありがとうございました。
- ・初めての農家民泊ですが、良い体験になった。あまり野菜を食べない私にとって自然の恵みの野菜のおいしさを実感出来て、良い思い出だった。
- ・今度の農家体験は本当に楽しかった。一生忘れない体験。自分の国に帰った後、絶対にこの体験をみんなにシェアするはず。お母さんと門脇家族のみんなはとても親切だった。この二日間、味噌たんぼと小豆の選別ともち作りとおにぎりを作って良い体験だった！！絶対12月1日の収穫感謝祭にも来ます！！
- ・今回の農家民泊を通して、新しい友だちも出来たし、初めての経験もたくさん出来て本当に楽しかった。留学生だけでなく日本人学生も楽しめる農家民泊に携わった全ての人に感謝すると同時に、この経験を自分の将来にいかして
- ・初めて農業体験をした良い経験だと思います。いろいろなことをしたり、いっぱい食べ物を食べたり、とても面白いと思う。本当にありがとうございます。
- ・とても楽しかった！帰りたくない！もう一度行きたい！ご飯はとてもおいしかった。ありがとうございます。
- ・農業体験や家族の食事などは私に自分の田舎を思い出させてくれた。私にとってこのツアーはとても意味があって大切な時間で良い思い出。本当にありがとうございました。
- ・農家民泊の体験がとても良かった。
- ・日本に来てから一番やりたいのは『農村の家に泊まること』だったので、このプログラムは本当に私の希望を受け入れてくれたものだった。今回はちょっと雨が降ったから、あまり農業しなかったのもちょっと残念だった。次回は天気情報を調べて天気の良い日にやってほしい。二日間良い経験になった。ありがとう！！
- ・美味しい料理をたくさん食べた。
- ・とても楽しかった！！
- ・とても楽しかった。良い経験だと思う。農業体験と言うが、重い仕事をしなかったのも良かった。農家の料理をいっぱい学んだ。食べ物が全部とてもおいしかった。おばあちゃんも親切だしいつも元気だった。今回の農家体験はとても楽しかったと思った。ありがとうございます。お疲れ様でした。
- ・今回のプログラムで日本の文化をより一層勉強出来た。そして各国の留学生との交流が出来て、本当に楽しかった。農家さんの招待に感謝したい。今回のプログラムのスタッフにも感謝したい。
- ・この二日間は本当に面白かった！たくさんの体験をした。きりたんぼとお焼きを作ったし、民芸品も作った。また夜の飲み会では、お父さんといろいろな話をした後、農業と秋田の出来事も多く勉強した。この体験の後、日本の文化についていろいろ勉強したいと思う。本当にありがとうございました！！お疲れ様でした。
- ・初めて日本の民宿で農業体験をしたり、美味しい日本料理を食べたり、留学生とお母さんお父さんとしゃべるのは本当に楽しかった。もし機会があればぜひもう一度来たい。
- ・充実した一日だった。また、参加したいと思う。お母さんもとてもありがたい。
- ・It was a great experience! けいこ・ゆきこ and their family were very kind and welcoming. I can't wait to see them again in December! The farming was a good experience and the food was extremely tasty.

- The farm stay was simply amazing. Although we were a little nervous, after a while we really felt like at home. Also, our Japanese guide and お父さんとお母さん always helped us, trying to make the environment good. I want to thank you to the university and the family which stay with us for this wonderful experience. I strongly recommend this tour. Again, thank you so much for everything.
- It was very fun. I experienced farm and Japanese culture. I didn't think it is very nice tour before. Our hosts are very kind people. We had a wonderful lunch, dinner and breakfast. Thanks for hosts and universities.
- It's a very nice 体験.
- It was very fun & informative. The farmers were really nice.
- I've experienced lots of new things in my host family house. I really love this experience, and I would like to come again. I even made new friends from many other countries, and that was so much precious experience for me.
- It was my first time that I've participated in such an interesting program. It was a chance to meet many people during this event and know almost Japanese life style. I really enjoy being with my host family and I have lots of good memories from this tour. Also I learned a lot about Japanese life style and habits. I would like to show great thanks for the organizer and also for my kind host family.
- Farm Stay is a great chance for foreign students as well as Japanese students to understand about farmer and farming. I'd like to recommend my friend to attend this next time.
- This was a fun part of studying abroad at Akita. The food was so much better than those at the school. My host family was so nice to me even though I spoke little Japanese. I would recommend that people should do this in the future.
- The host family was really kind to us. It's really good memory to communicate with people from different countries and Japanese. I was really impressed, Thank you!!
- Everything was new for me and I did many interesting thing and have many gifts, new foods also people were so kind and welcoming this programme was wonderful. Thank you!
- Great and unique experience. I'm very grateful for this opportunity. The hosting family was very nice and welcoming, kept feeding us during stay, and did everything to make us feel at home. Thank you very much!!
- I am extremely satisfied with those two days! Amazing experience of Japanese farm life and family.

《その他 Others》

- 雨天の時のactivityも作っていた方がいいと思います！！
- 当日の予定や段取りを事前に詳しく教えてほしい。
- Some were busier than others so it's a little hard, tiring; sometimes couldn't relax.
- I like the experience though, it was a little frustrated for me not to be able to talk with the family, who treated me so nice. I hope we could understand each other very much.
- But it's a pity we can't have lots of outdoors farm work because of the weather.

[農業体験ツアー] 受け入れ農家アンケート 結果

Result of Questionnaire of the Farming Tour for Host Family

回収数：8枚 単位：人

問1. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2012: Farming Tour

農業体験 Farming practice	1
農家民泊 Farm stay	2
ピクニック Picnic	1
学生との語り合い Talk with students	4
その他 Others	0

問2. 農業体験を実施して満足しましたか。

Were you satisfied with the farming experience?

とても満足した Very satisfied	2
満足した Satisfied	5
どちらでもない Neutral	1
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問3. 農家民泊を実施して満足しましたか。

Were you satisfied with the farm stay?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問4. ピクニックに参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the picnic?

とても満足した Very satisfied	2
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	4
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問5. 留学生と交流できましたか。

Could you communicate with International students?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	7
交流できた Yes, I could.	1
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問6. 日本人学生および引率教職員と交流できましたか。

Could you communicate with Japanese students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	7
交流できた Yes, I could.	1
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問7. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2012: Farming Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	7
満足した Satisfied	1
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問 8. 「第三の故郷を見つける農家民泊：農業体験ツアー」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2012.

《肯定的なコメント Positive Comment》

- ・皆さん日本語が上手で良かった。これから交流出来たら良いと思う。特に稲の発芽から成長するまでの事に熱心な学生さんがいて大変嬉しく思う。
- ・いろんな国の子供達と交流できる事が大変良かったです。また帰ってくる日を楽しみにしている。今度は1人でなく、2人で結婚とかで来て欲しい。
- ・天候が悪く予定していた体験が出来なかったりもしましたが、とても楽しかった。学生・引率教職員ともに話好きで、それぞれの国や文化について話し合う事が出来た。来年もお願いします。
- ・留学生の方々は、日本の事・秋田の事・民泊の事を一生懸命覚えようとしてくれていて、とても嬉しく思った。日本の字もとても上手ですね。
- ・生憎のお天気で満足な農業体験をさせてあげることが出来ず、残念だった。とても明るい学生さん達で、話しても話しても話題が尽きることなく、おしゃべりに華が咲いた。我が家の子ども達も混ざり、言葉の違い、文化の違い、生活様式の違いなど様々な気づきのあった貴重な時間だった。また、皆さんに会える日を楽しみに待っています。
- ・皆美味しいと食べてくれたことが嬉しかった。夜は、星雪館の紹介を母国語で書いてくれた。今後どこかの国の人が来ても、星雪館のことが分かるようになりました。また来てほしいです。
- ・とても楽しかった。いろいろ作業を手伝ってもらって、助かった。この2日間、とても有り難かった。
- ・お昼のおけを作る時にハプニングがあり、待たせて申し訳なかった。グループの人達がなごやかでとても良かった。おいしいと言ってもらうことが頑張りにつながった。これからも頑張ります。

[収穫感謝祭ツアー] 留学生・日本人学生アンケート 結果
Result of Questionnaire of the Harvest Tour for International Student and Japanese Student

回収数：42枚 単位：人

問1. あなたはどの大学の学生ですか。

Which university do you belong to?

秋田県立大学 Akita Prefectural University	5
秋田工業高等専門学校 Akita National of College of Technology	3
国際教養大学 Akita International University	18
秋田大学 Akita University	16

問3. 「第三の故郷を見つける農家民泊：収穫感謝祭ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2012: Harvest Tour?

料理の準備 Cooking	11
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	9
アルバムの作成 Making albums	10
その他（複数回答も含む） Others	12

問5. 食事をしながらの交流会に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with the party and eating meals?

とても満足した Very satisfied	32
満足した Satisfied	6
どちらでもない Neutral	3
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	1

問7. 農家の方たちと交流できましたか。

Could you communicate with farmers?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	17
交流できた Yes, I could.	17
どちらでもない Neutral	4
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	3
交流できなかった No, I couldn't at all.	1

問9. 「第三の故郷を見つける農家民泊：収穫感謝祭ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2012: Harvest Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	33
満足した Satisfied	9
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問2. あなたは留学生ですか、日本人学生ですか。
Are you an international student or a Japanese student?

留学生 International student	35
日本人学生 Japanese student	7
その他 Others	0

問4. 料理の準備に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with cooking meals?

とても満足した Very satisfied	32
満足した Satisfied	5
どちらでもない Neutral	2
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	3

問6. アルバムを作成して満足しましたか。

Were you satisfied with making albums?

とても満足した Very satisfied	30
満足した Satisfied	11
どちらでもない Neutral	1
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0
参加しなかった I didn't participate in cooking meals.	0

問8. 他の学生及び教職員と交流できましたか。

Could you communicate with other students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	15
交流できた Yes, I could.	24
どちらでもない Neutral	1
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	2
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問10. 「第三の故郷を見つける農家民泊」（11月3日から4日と12月1日）に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2012 in November 3-4, December 1 as a whole?

とても満足した Very satisfied	35
満足した Satisfied	7
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0
とても不満だ Very dissatisfied	0

問11. 「第三の故郷を見つける農家民泊」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2012.

《肯定的なコメント Positive Comment》

- ・この二日間の間、本当に由希子さんと桂子さんにお世話になりました。とても親切にしてくれて、ありがとうございました。機会があれば、また来たい。よろしくお祈りします。
- ・本当にありがとうございました。留学生の私にとってすごく心を温かく感じさせてくれた。もしチャンスがあったら、ぜひもう一度訪れます。
- ・生まれた国や容姿、価値観、言語が異なる人々同士であったが、一つのことを通して一緒に作業していく中で心が通じることができた。今後もこのような活動があれば参加したい。
- ・楽しかった。またこのようなイベントに参加したい。
- ・お母さんとみなさんに会えて、本当に良かった。いろいろな交流して、話して、いい経験になった。ありがとうございました。
- ・農家のお父さんからいろいろ農業を教えてもらった。本当にありがとうございました。お母さんはおいしい食べ物を作ってくれた。とっても楽しかった。各国の学生と交流して満足した。人生のいい経験だと思う。ぜひこれからも覚えていようと思う。
- ・「第三の故郷を見つける農家民泊」の一泊二日は受けなかったのちょっと残念なことだったと思うけど、今日一日もちつきの活動を参加できて本当にうれしかった。すごく楽しい一日になった。今後このような楽しい活動が行われたら、ぜひ参加したいと思う。もちのおかしは本当に美味しかった。
- ・いろいろな国々から来た学生と親しく交流するチャンスであり、このプログラムに参加して良かったと感じた。また、農家の方と交流することを通して普段の学生生活で忘れがちな「ゆっくりすること」を思い出せたように感じる。貴重な体験だった。ありがとうございました。
- ・とても満足した！留学生としてこのような農家体験は第二の家みたい。泊まった家では皆親切で、お世話になった。本当に忘れられない経験。日本と言えば、秋田の皆と農家生活を思い浮かぶ！ぜひもう一度来たい！門脇家のみなさん、本当にありがとうございました。
- ・本当に楽しかった。いろいろな国の留学生に会えて、とてもおもしろかった。
- ・私は日本人学生だが、民泊することで“今”の日本ではあまり見かけることが出来ない文化（例えばもちつき）を体験することが出来た。若い日本人や留学生の方々に“今”と“昔”の日本を両方とも触れることが出来るとても良い機会だと思う。すごく貴重な体験をさせていただき、どうもありがとうございました。
- ・この三日は本当に楽しかった！今日いろいろな写真を見るとたくさん思い出した。先月みんなと一緒に体験したこと、本当に面白かった。きりたんぼを作ったり、民芸品を作ったり、美味しい料理を食べたりした。里の灯のおばあさんとおかあさんもありがとうございました。お世話になり、本当にありがとう。そして今日の交流会も面白かった。
- ・すごく楽しかった。本当にありがとうございました。料理はすごく美味しかったし、作り方も楽しかった。
- ・またこういう活動に参加したい。
- ・自分の国ではそんな体験がなかった。今回の体験が本当に新鮮で楽しかった。
- ・いろいろな経験ができて、本当に良い思い出となった。
- ・とてもうれしかった。
- ・たくさん美味しい秋田の食べ物を食べた。楽しかった。
- ・このイベントでたくさんの友達を作った。嬉しかった。農家さんとの交流によって、日本の文化などをより一層理解出来た。本当にありがとうございました。
- ・お母さん達とスタッフさん達、本当にありがとうございました！とても楽しかった。出来ればまた遊びに来たい。ありがとうございました。
- ・この活動に参加できて良かった。本当に珍しい経験だと思う。お母さんと一緒に料理を作ったり、お話をしたり、ドライブをして嬉しかった。本当にありがとうございました。
- ・いい経験になった。みなさま、ありがとうございました。お疲れ様です。
- ・本当に満足した。ホストファミリーをよく選んだと思う。他の人の文化を習うことは面白い経験だと思う。このファームステイプログラムを続ければ良いと思う。本当に忘れない経験だと思う。ありがとうございました。
- ・機会があったら、また参加したい。
- ・とても楽しかった！いろいろお世話になってありがとうございました。また機会があったらぜひ遊びに行きたいと思い、また会うのを楽しみにしている。ありがとうございました！またよろしくお祈りします！！
- ・本当に楽しかったし、いい思い出を作ってくれてとてもいい経験だったと思う。またこんなプログラムが増えてもらいたい。またファミリーたちにも本当にありがとうございました。
- ・とても楽しかった。満足だった！みなさんと会えてよかった。また会えたら嬉しい。
- ・とても楽しかったー！初めて日本で農家民泊に来た。みんな家族みたい。本当にありがとうございました！
- ・この三日間とても面白くてお母さんたちが美味しい料理を出してくれたりとてもうれしくて、本当にありがたい。
- ・Thanks so much for this kind of experience. とても楽しかった。Wish have more times to joking. 文化の交流はとても面白かった。
- ・It was very wonderful memory for me. I'm so happy to join this program. If I have chance to join again, people from here were so welcoming and warm and taught as many interesting things and shown as wonderful things, also told us history and how to make something interesting many things. Thank you for million.
- ・I'm so appreciated that farmers treated as so nicely. I experienced soba making and Japanese food making. It's really an unforgettable memory for me. Thank you for holding this meaningful activity. I am happy to be part of you!!
- ・It was fun. I am happy I did this. It was worth my time and I think other students should do this.
- ・This moments are too short time. I'll miss the host family. 日本の家族が大好き。
- ・Good. Nice way to meet the locals. Keep it up.
- ・It's make me have a chance to meet more people, enjoy Japanese life. I feel very happy. Thanks a lot.
- ・I'm very interesting and I enjoy myself in this program. I could communicate with other students and make friends with them. Thank you very much.
- ・As I said before, this kind of experience is very good, especially for international students. Thank you very much.

《その他 Others》

- ・I wish I could go the first day.
- ・Even out food during the party. First party: too much onigiri, 2nd party: too little original, too much mochi

[収穫感謝祭ツアー] 受け入れ農家アンケート 結果

Result of Questionnaire of the Harvest Tour for farmers

回収数：8枚 単位：人

問1. 「第三の故郷を見つける農家民泊：収穫感謝祭ツアー」で一番印象に残ったイベントは何ですか。

Which event was the most impressive for you in Farm Stay in Akita 2012: Harvest Tour?

料理作り Cooking	0
食事をしながらの交流会 Party and eating meals	3
アルバムのプレゼント Present of albums	4
その他（複数回答を含む） Others	1

問3. 食事をしながらの交流会に満足しましたか。

Were you satisfied with the party and eating meals?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問5. 留学生と交流できましたか。

Could you communicate with International Students?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	6
交流できた Yes, I could.	2
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問7. 「第三の故郷を見つける農家民泊：収穫感謝祭ツアー」に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2012: Harvest Tour as a whole?

とても満足した Very satisfied	6
満足した Satisfied	2
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問2. 学生と一緒に料理作りをして満足しましたか。

Were you satisfied with cooking meals with students?

とても満足した Very satisfied	4
満足した Satisfied	4
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問4. アルバムのプレゼントには満足しましたか。

Were you satisfied with present of albums?

とても満足した Very satisfied	8
満足した Satisfied	0
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問6. 日本人学生及び引率教職員と交流できましたか。

Could you communicate with Japanese students, staff and faculty?

とてもよく交流できた Yes, I could very much.	7
交流できた Yes, I could.	1
どちらでもない Neutral	0
あまり交流できなかった No, I couldn't very much.	0
交流できなかった No, I couldn't at all.	0

問8. 「第三の故郷を見つける農家民泊」（11月3日から4日と12月1日）に参加して満足しましたか。

Were you satisfied with Farm Stay in Akita 2012 in November 3-4, December 1 as a whole?

とても満足した Very satisfied	7
満足した Satisfied	1
どちらでもない Neutral	0
不満だ Dissatisfied	0

問 9. 「第三の故郷を見つける農家民泊」について、自由に感想・意見をお書きください。

Please give us your comments and opinions about the Farm Stay in Akita 2012.

《肯定的なコメント Positive Comment》

- ・とても素直な学生さん方といると、「ああ良かったな」という時間を過ごしたことが実感できる。本当にありがとうございます。
- ・アジアの子どもたちと過ごすことが出来て、みんないい子だったのでとても楽しかった。これからも、この行事を続けてほしいと思う。よろしくお願いします。
- ・言葉も通じたし、皆さん話しやすく親しみやすい方たちだったのでとても楽しく過ごせました。その国々の文化や食習慣、イベント等について聞くことができ、大変興味深かった。
- ・とても楽しい三日間だった。世界各国の皆さんと秋田のこの地で出会うことができる！これは素晴らしい経験。何よりも我が家の子どもたちには刺激的で英語力を高めたいという意識づけになったよう。素直で積極的な子どもたちで、何をやっても歓声が上がった。受け入れ側としてもとてもやりがいを感じた。よく笑い、よく語り、いい時間を送ることができた。ありがとうございました。
- ・来年もまたこのツアーがあると嬉しい。とても勉強になり、思い出がたくさん出来た。
- ・少ない時間で思い出に残るアルバムを作っていただき、いつも感動している。
- ・11月に来て、また1ヶ月後の今日同じメンバーの方達と会えて、とても楽しく過ごさせてもらった。家に居て、世界の国々の方達と交流出来るのは最高。また会える日を楽しみにしています。
- ・男学生が一人だったが、皆で協働作業してくれたので、本当に助けられた。またお逢いしましょう。楽しみにしています。

おわりに

グリーン・ツーリズム西木研究会
会長 門脇 富士美

今年4回目になるこの事業ですが、私は春に「今年も秋に留学生との交流事業があると良いなあ」と思うようになりました。沢山の子供達と交流のある私達のグループですが、外国の言葉と文化の違う人との交流は、日程と名簿を見ながらのドキドキ感が、日本人の子供達とはちょっと違います。今年、受け入れ農家の何軒かは、アメリカ、マーシャル諸島、韓国、台湾など、海外からのお客様との交流を持つ機会があり、とても良い経験をしました。私達は秋田弁と、日本語しか話すことは出来ません。言葉の壁の厚さを感じながら、それでも、積極的に海外からのお客様を受け入れ、楽しい思い出に残る交流を持つ事が出来たのは、過去3年、この事業で多くの国の学生達との交流を経験していたからだと思えます。

11月皆さんと会う時まで、どこのホストファミリーも、何を食べさせようか？あれは食べるかな？これはどうだろう？何を体験させようか？と、沢山思いをめぐらせていたようです。当日を迎え、会って顔を見て、声を聞き、自己紹介をするとホッとして、2日目になると自分の家族のような、親戚の子供のような気分になり別れがたく感じました。なんでも美味しいと食べてくれて、どこでもドアがあったらいつでも食べさせてあげられるのと思ったほどです。

12月の収穫祭ではもち作りの体験をしましたが、どうでしたか？皆さんの国には同様の文化がありますか？杵と臼でついたお餅は、とても良く出来ていて美味しかったですね。それに、素敵なアルバムをありがとうございました。

今年この事業に参加した留学生の皆さんは（今年の皆さんもですね）、とっても積極的だったと思います。我が家（星雪館）に来た8人も、農作業にも積極的、グループ内での情報交換でも明るく積極的、もち作りも、ネット上でのコミュニケーションにも積極的で、親元を離れて外国で暮らそうと言うだけあって大したものだと思って接していました。目的意識をしっかり持ち、常に学ぼうとする姿勢は、私にとって大変勉強になりました。おそらく、受け入れたすべてのホストファミリーがそう感じていたのではないかと思います。

全部で3日間という短い時間でしたが、秋田の農家はどうだったでしょうか？ホストファミリーはいつも、自然体で子供達と接するようにしています。秋田の普通の農家を見て、感じて欲しいからです。次は皆さんを「おかえりなさい」とお迎えしたいと思っています。また是非おいでください。

平成 24 年 12 月 7 日



発行

秋田地域留学生等交流推進会議

事務局 秋田大学国際課内

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

TEL 018-889-2856

FAX 018-889-3012

E-mail kokusai@jimu.akita-u.ac.jp